

「スマートイルミネーション横浜2016」 アートプログラムが決定しました！

SMART
ILLUMI-
NATION
2016

横浜市は、文化芸術創造都市による魅力・活力の創出に取り組むとともに、環境未来都市にふさわしいエネルギー施策と低炭素なまちづくりを推進しています。

スマートイルミネーション横浜は、創造都市と環境未来都市の推進に取り組む横浜の特色を生かし、LED照明や太陽光発電などの省エネルギー技術と、アーティストの創造性を融合させ、新たな夜景の創造を試みるアートイベントです。2011年から始まり、今年で6回目の開催となります。

2016年11月2日（水）から6日（日）の5日間にわたり、象の鼻パークを中心とした横浜都心臨海部で開催します。

1. フランス、中国・上海の人気アーティストの参加が決定！

フランスのバルバラ・キャデ 様、中国・上海のルー・ヤン 様、二組の海外アーティストの参加が決定しました。彼女たちが日本初登場となるオリジナル作品の制作・展示を行います。

国内からは、2011年の初開催から参加している高橋 匡太 様をはじめ、昨年スマートイルミネーション・アワードで最優秀賞を受賞した松本大輔 様+原田 弥 様などが参加し、国内外16組のアーティストによるイメージーション豊かな作品が、今年も横浜の夜を彩ります。

■ 《HEART》／バルバラ・キャデ（会場：象の鼻テラス内）



今年の横浜フランス月間でも作品を披露したバルバラの最新作が登場します。立体的なハートのインスタレーションの形をつくるのは、動物をモチーフにした色鮮やかな切り絵です。中心には照明があり、来場者が自由にON / OFFすることで、作品をぼんやりと浮かび上がらせます。

（作品イメージ）

■ 《ポンプDEイルミ vol.2》／松本大輔+原田 弥 「夜の運動会実行委員」 （会場：象の鼻パーク）



昨年、「FutureCity Yokohama スマートイルミネーション・アワード2015」で最優秀賞を受賞した松本大輔+原田弥「夜の運動会実行委員」が、今年アートプログラムの招待作家として作品を展開します。

「ポンプDEイルミ」は、ポンプアップで光を持ち上げ、そのスピードを競う参加型作品で、今年象の鼻パークに面したビルが4色ある光のうち一番早かったチームの色に染まります。

（作品イメージ）

※プログラムの内容はすべて予定です。今後変更となる可能性があります。

裏面あり

2. 「FutureCity Yokohama スマートイルミネーション・アワード2016」

産官学・市民など、多くの皆様の参加と次世代のイルミネーションアーティストの育成を目的として「FutureCity Yokohama スマートイルミネーション・アワード2016」を開催します。

一般部門に13作品、学校部門に8作品が参加し、未来を担うクリエイターたちがそのアイデアを競い合います。



Photo: AMANO STUDIO

今年は、象の鼻パークでの屋外展示に加え、開館99周年を迎えた横浜市開港記念会館に屋内会場を設置します。普段は公開されていない地下空間に多彩なライトアートの作品が展示されます。

アワード作品は、象の鼻パーク及び横浜市開港記念会館に展示し、審査会を経て、11月6日（日）に最優秀作品を選出、発表します。

FutureCity Yokohama スマートイルミネーション・アワード 2015「学校部門」最優秀賞受賞作品
「buoy」/城西国際大学メディア学部クロスメディアコースメディアデザインラボ

3. 新たな環境技術との出会い

スマートイルミネーション横浜では、昨年から、先進的な環境技術を有する企業とアーティストのマッチング交流会を開催してきました。今年も、8つの企業、団体と6名のアーティストにご参加いただき、活発な意見交換が行われました。この交流会に参加し、独自の蓄電システムを持つ企業の協力を得て、会場で使用する電力の一部をまかさないです。今後もLEDの活用はもちろんのこと、蓄電技術など、新たな都市インフラの提案につながる環境技術をイベントのなかで積極的に活用していきます。



蓄電システム「パワーイレ・プラス」

＜今年度の協力事例＞

エリーパワー株式会社（本社：東京都品川区/代表取締役社長：吉田博一様）

2006年設立。大容量の蓄電システムから洗練されたデザインのポータブルな蓄電池まで、大型リチウムイオン電池の開発・製造を手がける。スマートイルミネーション横浜の開催主旨に賛同し、可搬型蓄電システム「パワーイレ・プラス」（蓄電容量 2.5kWh）の機材提供による協力が実現。本製品は日経優秀製品・サービス賞 2012 日経産業新聞賞 優秀賞を受賞。

4. 市内に広がるスマートイルミネーション

今年も、多くの企業、団体が連携プログラムに参加します。また、横浜都心臨海部のほか、緑区、泉区でもスマートイルミネーションを開催します。各区役所が主体となり、各区の地域性に応じたプログラムを展開します。

＜緑区＞

日程：9月30日（金）～10月1日（土）

会場：緑新栄会通り（JR横浜線「中山駅」そば）

＜泉区＞

日程：12月3日（土）※荒天時は翌日へ順延

会場：地蔵原の水辺（相鉄線「いずみ中央駅」前）

●環境未来都市とは

環境問題や超高齢化への対応などの様々な社会的課題に総合的に取り組んで活力ある都市をつくる、国家的なプロジェクトのひとつです。横浜市は、平成23年12月、国から「環境未来都市」に選定されました。



お問合せ先

文化観光局創造都市推進課創造まちづくり担当課長 河本一満 Tel 045-671-3425

【報道関係の皆様からのお問合せ先】

株式会社サニーサイドアップ 担当：堀越千晴、岩崎彩加、中嶋健一

TEL：03-6894-3200/FAX：03-5413-3050/E-mail：siy2016@ssu.co.jp



報道関係者各位

スマートイルミネーション横浜実行委員会
2016年9月30日

環境未来都市・横浜から提案する、新たな時代のイルミネーション

「スマートイルミネーション横浜 2016」イベント詳細&参加アーティスト決定

11月2日(水)～11月6日(日) 17:00～22:00 / 象の鼻パーク、横浜市開港記念会館 ほか

スマートイルミネーション横浜実行委員会では、横浜市の都心臨海部を中心に、LED照明や太陽光発電などの省エネルギー技術と、アーティストの創造性を融合させ、新たな夜景の創造を試みる国際アートイベント「スマートイルミネーション横浜 2016」を、11月2日(水)から11月6日(日)までの5日間開催します。

2011年の東日本大震災を契機として、都市空間における省エネルギー技術活用の重要性が高まるなかスタートし、6回目となる今年、国内外のアーティストたちによる作品展開をはじめ、歴史的建造物などへのライトアップ、参加体験型のインスタレーション、ワークショップ、各種イベントなど、見どころ盛りだくさんの内容でお送りいたします。

■「スマートイルミネーション横浜 2016」見どころ

①フランス、中国・上海の人気アーティストの参加が決定！！

フランスのバルバラ・キャデ、中国・上海のルー・ヤン、二組の海外アーティストの参加が決定。日本初登場となるオリジナル作品の制作・展示を行います。国内からは初回から参加している高橋匡太をはじめ、国内外の16組のアーティストによるイマジネーション豊かな作品が横浜の夜を彩ります。

②若手クリエイターや学生がアイデアを競いあう、

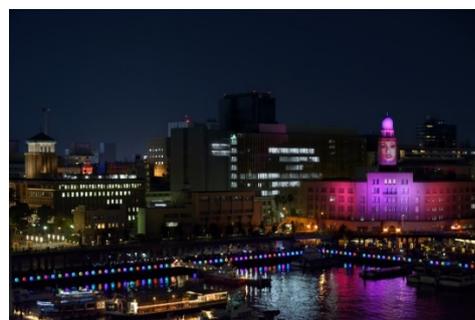
「FutureCity Yokohama スマートイルミネーション・アワード 2016」

2013年から実施しているスマートイルミネーション・アワード。

今年是一般部門13作品、学校部門8作品が参加。未来を担うクリエイターたちが、そのアイデアを競い合います。今年度は、象の鼻パークの屋外展示に加え、開館99周年を迎えた横浜市開港記念会館に屋内会場を設置、普段は公開されていない地下空間に多彩なライトアートの作品が展示されます。

③新たな環境技術との出会い、企業コラボレーション

スマートイルミネーション横浜では、先進的な環境技術を有する企業とアーティストのマッチング交流会を開催し、参加した企業とのコラボレーションを推進しています。LEDの活用はもちろんのこと、蓄電技術など、新たな都市インフラの提案につながる環境技術をイベントのなかで積極的に活用していきます。



「スマートイルミネーション横浜 2015」より

〈イベント概要〉

名称：「スマートイルミネーション横浜 2016」 <http://www.smart-illumination.jp/>

全体テーマ：環境未来都市・横浜から提案する新たな時代のイルミネーション

会期：11月2日(水)～11月6日(日) 5日間 / 17:00～22:00 *横浜市開港記念会館のみ 21:30 終了

会場：象の鼻パーク、横浜市開港記念会館 ほか

主催：スマートイルミネーション横浜実行委員会

共催：横浜市

特別協賛：株式会社 FREEing、富士ゼロックスアドバンステクノロジー株式会社

協賛：エリーパワー株式会社、株式会社 ZE エナジー / 株式会社アースプラス

公式動画：「smart illumination 2016」 <https://youtu.be/UOZZ2apu3RQ>

【報道関係の皆様からのお問い合わせ先】

株式会社サニーサイドアップ 担当：堀越千晴、岩崎彩加、中嶋健一

TEL：03-6894-3200 / FAX：03-5413-3050 / E-mail：siy2016@ssu.co.jp

【一般の方からのお問い合わせ先】

スマートイルミネーション横浜 イベント事務局 担当：川城、真栄城(まえしろ)

TEL：045-633-9660 / FAX：045-662-8224 / Mail：jimukyoku@hustle.jp

■ 事業構成

1.アートプログラム

国内外のアーティストが最先端の環境技術を活用し、「もうひとつの横浜夜景」を提案するメインプログラム

2.FutureCity Yokohama スマートイルミネーション・アワード 2016

LED や有機 EL など環境に配慮した照明技術の新たな活用方法と若手アーティストや学生の創造性を融合させた光に関するアワード事業。「一般部門」・「学校部門」の2部門に分け、グランプリを決定する

3.連携プログラム

スマートイルミネーション横浜のコンセプトに賛同する企業、団体、施設、商店街、市民などによる参加プログラム

※プログラムの内容はすべて予定です。今後変更となる可能性があります。

1.アートプログラム

会期中常設で展示される作品群。新たな都市景観を生み出す環境演出型のプログラムや、来場者が様々な「ひかり遊び」を体験できるインタラクティブ作品など、多彩な作品を展示します。

■《HEART》

バルバラ・キャデ

Barbara Cadet (フランス) / 象の鼻テラス内



(作品イメージ)

立体的なハートのインスタレーション。形をつくるのは、動物をモチーフにした色鮮やかな切り絵。中心には照明があり、来場者が自由に ON / OFF することで、ぼんやりと浮かび上がらせる。

■《光のオトイロ》

つちやあゆみ / 象の鼻パーク



(作品イメージ)

作曲・演奏ができる、ガラスの琴。琴は色毎に音階を持ち、その7色と透明な音消し板で、多様なメロディを紡ぐ。

■《instinctively0》

山内沙也果 / 象の鼻パーク、山下臨港線プロムナード橋脚下



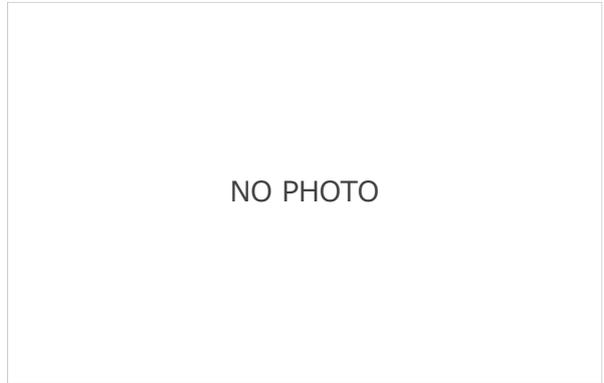
(作品イメージ) 撮影: Katsuhiro Ichikawa

人それぞれに自分を良く魅せる得意な角度を持っている。そんな角度よりも直感的に魅せる角度の方が人間的で面白い。

■《タイトル未定》

ルー・ヤン

Lu Yang (中国・上海)



上海を拠点に活動する Lu Yang (ルー・ヤン) は、ビデオ、アニメーションなど多様なメディアを介して自然界で起きるできごとを追求するアーティスト。横浜の夜景に、生物的・物質的事柄にスポットをあてた一瞬の儚さを表現する。

■《ささやく街の灯》

高橋匡太 / 象の鼻防波堤先、プロムナード



(作品イメージ)

横浜都心臨海部を望みながら対岸に広がる夜景を眺めるインスタレーション。夜景や光にまつわるお話がラジオから流れ、ランプの暖かなあかりのもと静かに時を過ごします。ラジオから流れる曲のリズムに合わせて夜景に隠されたライトがささやきます。

■《ポンプ DE イルミ vol.2》

松本大輔+原田弥「夜の運動会実行委員」 / 象の鼻パーク



(作品イメージ)

イルミネーション+運動会=忘れられない体験
あかり+空気入れ=夜の運動会
自然エネルギー+来場者のエネルギー=未来の横浜夜景
空間ライトアップ運動、複数人対戦可能なポンプ DE イルミ vol.2。
横浜夜景と笑顔を体験下さい。

■《光のらくがき》

(株) 中川ケミカル / 象の鼻パーク



蓄光シートのパネルにペンライトをつかって自由にお絵かき！ 写真を撮ったり思い思いにひかりのらくがきをお楽しみください。

(作品イメージ)

■《電光☆劇場》

日下淳一 / 象の鼻パーク



全身光り輝く衣装を身に着けたイルミネーターが展開するパフォーマンスと参加体験型インスタレーション。

(作品イメージ)

■《発電ボールダンサー(メガネ)の自家発電ナイト》 ※11月4日(金)のみ実施



メガネ、TABATHA (ダンスユニット)、菅尾なぎさ (振付家・ダンサー/クリウムパニー)、

松原東洋・長谷川宝子 (舞踏家/渋さ知らズオーケストラ)、長井江里奈 (振付家・ダンサー/まことクラヴ) / 象の鼻テラス

企画：TRAUMARIS

企画協力：株式会社アースプラス

孤高の覆面ダンサー(メガネ)が回転により発電するボールダンスマシンを駆使し、4組の出演者のために小型アンブヤラジカセ、LED電飾などをフル稼働。パフォーマンスの底力と電力のありがたみを身体をはって伝える、美しき労働の一夜！

(画像) 撮影：ただ(ゆかい)

■《オトギ》

ノナカ (新保瑛加/松川菜) / 横浜市開港記念会館



横浜市開港記念会館の窓を、外から見上げて楽しむ作品。透明レリーフと鮮やかな光が「オトギ」の物語をつくりだす。

(作品イメージ)

■《illumination land》

加藤立 / 象の鼻パーク (映像作品)



現実世界に潜むささやかな気づきや美しさをくわいあげる「クールでほっこり」なコンセプトアートをつくり続ける加藤立。波打ち際に「あるもの」を放置して波の形を残す映像作品『illumination land』は自然のエネルギーが秘めた力強さをダイレクトかつ詩的に表現します。

(画像) 撮影：加藤立

■《bristle》

長谷川依与 / 象の鼻パーク



bristle とは名詞で「粗い毛」、動詞で「毛を逆立てる」「密生する」などを意味する。日常生活で使われている何気ない既製品に人が1アクション加えることで、人が生み出した物から人が進化の過程で失った本能的なものを表現できないかと考えた。

(作品イメージ)

■《airy steps》

長谷川依与 / 象の鼻パーク



普段目に見えない存在。光が介在すること、普段私たちが見慣れている素材でその存在が見える気がする。

(作品イメージ)

■《ガイドシップ》

日下淳一 / 横浜港内



日下淳一による光る衣装をまとったガイドとともに海から象の鼻パークを一望しクルーズする。

2. FutureCity Yokohama スマートイルミネーション・アワード 2016

(会場：象の鼻パーク、横浜市開港記念会館)

LED や有機 EL など、環境共生型の照明技術の新たな活用方策を発見、創造する機会と次世代のアーティストの育成を目的としたアワードです。一般部門 13 作品、学校部門に 8 作品が参加し、11 月 6 日に最優秀賞を発表します。また今年、象の鼻パークでの屋外展示に加え、普段は一般公開されていない、開館 99 周年を迎えた横浜市開港記念会館地下にも作品を展示します。

3. 連携プログラム

施設、企業、各種団体、大学等が、独自に「スマートイルミネーション横浜」の参加プログラムを企画、実施します。

本庁舎建設 88 周年記念行事 (米寿記念行事)

日時：11 月 2 日 (水) ～11 月 6 日 (日)

会場：神奈川県本庁舎

内容：米寿記念行事として、庁舎のライトアップ・イベントを実施します。

パープルライトアップ ひかりの実プロジェクト 2016

日時：2016 年 11 月 15 日 (火) ～20 日 (日)

会場：フォーラム (男女共同参画センター横浜) 1 階 情報ライブラリ内

内容：「女性に対する暴力をなくす運動期間」に合わせ、DV 防止のシンボルカラーである紫色で男女共同参画センター横浜前庭周辺のライトアップを行います。

■ 新たな環境技術との出会い～先進的な環境技術を有する企業とのコラボレーション～

プレイベントとして先進的な環境技術を有する企業とアーティストのマッチング交流会を開催。今年度の「スマートイルミネーション横浜 2016」でも、このプレイベントに参加した企業とのコラボレーションを推進。今年、独自の蓄電システムを持つ企業の協力を得て、会場で使用する電力の一部をまかないます。

エリーパワー株式会社

(本社：東京都品川区/代表取締役社長：吉田博一氏)

2006 年設立。大容量の蓄電システムから洗練されたデザインのポータブルな蓄電池まで、大型リチウムイオン電池の開発・製造を手がける。スマートイルミネーション横浜の開催主旨に賛同し、可搬型蓄電システム「パワーイレ・プラス」(蓄電容量 2.5kWh)の機材提供による協力が実現。本製品は日経優秀製品・サービス賞 2012 日経産業新聞賞 優秀賞を受賞。

■ 市内に広がるスマートイルミネーション。今年は緑区、泉区で地域の特色を活かして展開

象の鼻地区を中心とする横浜都心臨海部のほか、緑区、泉区でもスマートイルミネーションを開催。各区役所が主体となり、市民団体/大学/施設/商店街との連携のもと、各区の地域性に応じたイルミネーションプログラムを展開します。

【緑区】日程：9 月 30 日 (金) ～10 月 1 日 (土)

会場：緑新栄会通り (JR 横浜線「中山駅」そば)

【泉区】日程：12 月 3 日 (土) ※荒天時は翌日へ順延

会場：地蔵原の水辺 (相鉄線「いずみ中央駅」前)

【報道関係の皆様からのお問い合わせ先】

株式会社サニーサイドアップ 担当：堀越千晴、岩崎彩加、中嶋健一

TEL：03-6894-3200/FAX：03-5413-3050/E-mail：siy2016@ssu.co.jp

【一般の方からのお問い合わせ先】

スマートイルミネーション横浜 イベント事務局 担当：川城、真栄城(まえしろ)

TEL：045-633-9660/FAX：045-662-8224/Mail：jimukyoku@hustle.jp